

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 12月

平成29年12月1日の推計人口 1,352,326人
世帯数 561,981世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成29年12月1日現在の推計人口は、1,352,326人で、前月(1,353,126)に比べ800人の減少となった。

市部では大村市(67)の1市で増加し、長崎市(278)、佐世保市(164)、五島市(65)、島原市(58)、壱岐市(42)、雲仙市(40)、南島原市(40)、平戸市(39)、西海市(32)、対馬市(22)、諫早市(15)、松浦市(1)の12市で減少した。

郡部において佐々町(16)、小値賀町(2)の2町で増加し、長与町(25)、時津町(21)、川棚町(20)、新上五島町(18)、東彼杵町(4)、波佐見町(1)の6町で減少した。

自然動態は、出生数892人、死亡数1,548人で656人の減少、社会動態は、転入者数2,327人(県内転入を含む)、転出者数2,471人(県内転出を含む)で、144人減少となった。

2 世帯数

平成29年12月1日現在の世帯数は、561,981世帯で前月(562,324)に比べ343世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…10月

1人あたり現金給与総額 251,459円
対前月比 0%同水準
対前年同月比 0.7%増加

1 賃金

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額251,459円で、前月と同水準、前年同月に比べ0.7%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は250,080円で、前月に比べ1.0%増加し、前年同月に比べ0.7%増加した。

特別給与額は1,379円で、前年同月に比べ、160円増加した。

2 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は159.5時間で、前月に比べ1.6%増加し、前年同月に比べ1.0%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は146.6時間で前月に比べ1.4%増加し、前年同月と比べ0.8%増加した。

所定外労働時間数は12.9時間で、前月に比べ3.1%増加し、前年同月に比べ3.2%増加した。

3 雇用

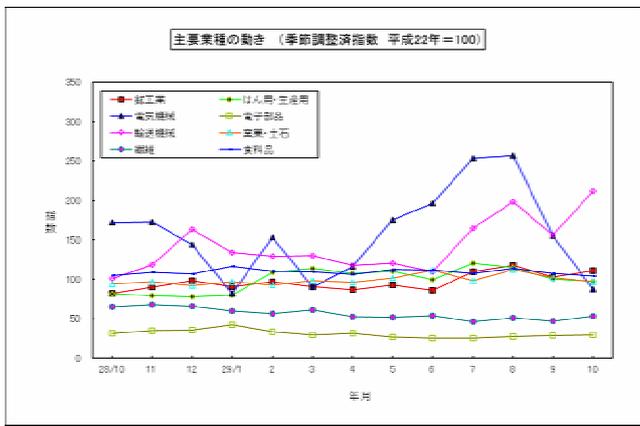
10月の常用労働者数は210,035人で、前月と同水準、前年同月に比べ1.5%減少した。

【鉱工業生産指数】……………10月

平成29年10月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	111.1	7.8	113.2	33.0
九州	p109.3	p1.4	p112.4	p3.2
全国	103.0	0.5	104.7	5.9



平成29年10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が111.1で前月比は7.8%の増、原指数は113.2で、対前年同月比は33.0%の増となった。

業種別にみると、輸送機械工業、繊維工業、電子部品・デバイス工業など4業種が上昇し、電気機械工業、窯業・土石製品工業、食料品工業、はん用・生産用機械工業など9業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
輸送機械工業	35.7	96.6	修繕船
繊維工業	13.4	17.8	織物製外衣
電子部品・デバイス工業	3.5	3.2	シリコンウエハ

主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	43.8	48.8	交流発電機
窯業・土石製品工業	4.9	3.8	生コンクリート
食料品工業	3.2	0.6	焼酎
はん用・生産用機械工業	2.8	21.9	クレーン

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 11月

総合指数(H27=100)	101.1
対前月比(%)	0.0
対前年同月比(%)	0.4

平成29年11月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、101.1である。

前月と同水準で、主な上昇要因は「被服及び履物」の+1.6%、「交通・通信」の+0.5%であり、主な下落要因は「諸雑費」の0.5%、「食料」の0.1%である。

前年同月比は、平成29年8月は+0.4%と、9月は+0.8%と10月は+0.6%と推移した後、0.4%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は101.2であり、前月比は0.1%の上昇、前年同月比は+1.2%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

被服及び履物	1.6%
交通・通信	0.5%
教養娯楽	0.3%

下落した費目

食料	0.1%
住居	0.1%
光熱・水道	0.1%
家具・家事用品	0.5%
保健医療	0.1%
諸雑費	0.5%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……11月

消費支出(一世帯当たり) 310,293円
前月比 9,514増(3.2%増)

平成29年11月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は310,293円で、前月比3.2%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は87.7%であった。

主な支出内容	支出額(円)	対前月増減率(%)
食料	77,575	7.3
住居	15,360	11.3
光熱・水道	19,363	7.2
交通・通信	43,221	12.8
教養娯楽	29,062	34.2

(注)この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。